

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市亀岡老人福祉センター
2	指定管理者	社会福祉法人元気村
3	指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
4	施設の利用状況	《利用者数》 人（前年度比 ○○%） 令和元年度 19,539人（前年度比70.4%）※R1.10～R2.3は浴室利用休止。 平成30年度 27,756人（前年度比100.3%） 平成29年度 27,664人（前年度比112.6%）
		《事業》 三者合同会議：2回、第三者委員会：5回、サポート委員会：12回、趣味の教室：11教室、愛好会等：20団体、介護予防栄養教室：3回、マッサージ体験教室：10回、健康啓蒙活動：21回、元気サロン：7回、ダンスパーティー：12回、うたごえ喫茶店：4回、日帰り旅行：1回、地域防災訓練参加：1回、センター祭：1回、新春演芸大会：1回、誕生会、12回、土砂災害避難訓練：1回、防災避難訓練：2回、認知症サポーター養成講座：9回、新体・アップ・ホップマッサージ教室：10回
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 29,017千円 (28,800千円) ( )は前年度決算額 ・ その他市が負担した費用 1,348千円 ( 629千円)
		《収入》 ・ 使用料収入 0千円 ( 0千円) ・ その他収入 0千円 ( 0千円)
6	利用者の声	《実施状況》 三者合同会議・新年祝賀の会で意見抽出：2回、サポート委員会：12回、仙台市実施アンケート：1回、センターまつりアンケート：1回、介護予防栄養教室アンケート：3回

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	老人福祉センターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康づくりや、公平・公正な利用、高齢者の特性を理解したうえでの心身への配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	33/33
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、各職員は他の職員の業務状況を把握している。経理処理も書類作成など適正に行われている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定めるとともに個人情報保護方針を館内に掲示しているほか、職員への周知等、意識啓発も行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備え、連絡体制や職員の役割分担を予め決めていくなど、対応体制を構築している。	24/24
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な対応と分かりやすい説明を心がけている。 また、毎月のセンターだより発行など、利用者への情報提供や施設のPRも積極的にしている。 さらに、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、市が実施する利用者アンケートの他にも独自アンケートを実施してニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に意欲的に取り組んでいる。	28/28

V	施設固有の基準	<p>高齢者が自ら学んだことを発表する機会の設定を積極的に行なっており、利用者の主体的な企画実施に対する支援も行っている。</p> <p>また、利用者の代表者で構成する委員会を立ち上げ、利用者が施設運営に関わる仕組みづくりを努め、利用者の意見を取り入れた企画の立案を行っている。</p>	9/9
---	---------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----

### 三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人元気村）による自己評価》	
<p>毎年4月の開講式を皮切りに、盛りだくさんの事業計画を立て、職員一丸となって実施してきました。</p> <p>イベントについて、誕生会、センターまつり、うたごえ喫茶店、健康いきいきフェスタ、元気サロン等を開催することで、利用者の発表の機会を数多く設けております。特に誕生会は、利用者の交流の場、各団体の日頃練習の成果の場として、大変な盛り上がりになっておりました。また実施においては可能な限り職員も参加し、利用者との交流も重視しており、顔の見えるイベントとして良い評価を頂いています。加えて職員の質の向上にも役立っております。</p> <p>施設維持管理について、業務担当者による年間業務計画表を作成し、遅滞なく維持管理業務を実施しています。三者合同会議は年2回の開催ですが、老人福祉センターの役割、センターの基本方針・事業計画など主要な議題について討議し協力を頂いております。</p> <p>サポート委員会について、各種ビッグイベントの企画・運営にはほぼ毎回参加・協力の上利用者の視点から意見・要望を出して頂いております。このことにより利用者参加型のイベントになっております。</p> <p>そのほか、新しい事業として令和元年9月に開講した「新体・アップ・ホップマッサージ教室」は、国家資格の按摩・マッサージ・指圧師と、理学療法士、センター看護師の三者が連携し、利用者の身体機能維持・改善を目指すものです。1回あたりの定員に制限がありますが、適切な助言とマッサージの施術を提供するため、受講生の健康に対する意識も向上しています。今後身体機能維持のための重要な事業になるものと考えています。</p>	

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和元年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>各種趣味の教室や季節の行事・誕生会など、多彩な催しは、地域の高齢者のふれあいの場となっており、高齢者の積極的な社会参加に貢献している。</p> <p>「なんでも相談コーナー」を常設しており、日常的に利用者の健康状態の把握に役立っている。「健康リハビリ運動講座」、「元気サロン」や、介護予防事業にも力を入れており、利用者の健康維持に努めている。</p> <p>また、新しい事業として「新体・アップ・ホップマッサージ教室」を開講するなど、サービス向上のため意欲的に取り組んでいる。</p> <p>そのほか、趣味の教室講師、愛好会・同好会代表、サポート委員による三者合同会議を開催し、利用者の意見を運営に反映するとともに、利用者主体で各種行事に取り組むなど、総合的に高く評価できる。</p>	S

### 四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局保健高齢部高齢企画課